



保育参観・講演会

日時：9月9日(土)

保育参観…乳児クラス 9:30～10:00

幼児クラス10:00～10:30

講演会…10:45～12:15

講師：臨床心理士

新宅 博明先生

参観は子どもたちが日ごろどのようなあそびに関心を持っているのか、友だちとかかわる様子を観ていただいたり親子で楽しめるあそびも計画しています。

また、日頃の園生活の様子をお知らせしたり、家庭での様子なども伺う機会としたいと思います。

参観後の講演会には新宅明先生においでいただき「意欲を育てる」のテーマでお話ししていただきます。子育てをする中で、わが子を少し違う視点から見ることで肩の力を抜いて子どもに向き合うことができる機会となれば・・・と思います。

お年寄りを大切に

敬老の日は昭和41年から国民の祝日(9月15日)に加えられ、平成15年に9月の第3月曜日になった比較的新しい祝日です。「多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」だけでなく、すべての国民が高齢福祉について、関心と理解を深める日であると言えます。

当園では地域の老人会の方々をお招きし26日(火)に敬老会を催し、一緒に交通安全キャンペーンに参加するなどして、年長組と触れ合います。

この機会を通して、お年寄りを敬う気持ち、思いやりの心が育つ機会にしたいと思います。



いざという時に備えて住宅用火災警報器、消火器などを備えましょう

9月1日 防災の日  
9日 救急の日



広島市南消防署



平成29年 9月の園だより



「子どもの意欲と主体性を育てるには」

公園から賑やかな蝉の鳴き声が聞こえたかと思っていたら、お盆休みの頃から保育園のスズムシが鳴き始めました。

朝晩も涼しくなり季節の移り変わりを感じています。暑さ寒さで季節の変化を感じるだけではなく、空に浮かぶ雲や虫の鳴き声、風のおいなど五感で季節を感じることもあるのです。

さて、8月26日(土)の夏まつりには保護者、地域の皆様にたくさんお越しいただき、ありがとうございました。子どもたちも夏まつりでは、先生たちの浴衣姿を見たとき、オープニングでエレファントブラスの演奏を聞きながら知っているうたを歌っているとき、盆踊り「エビカニ音頭」を友だちや先生と「エビ！カニ！」と元気よく声を出しながら踊っているとき、ゲームコーナーでお揃いの光る指輪を嬉しそうに見せてくれたときなど、いつもとは違う表情を見せてくれました。

友だちと先生たち、家族の人たちや地域の方々“たのしい”や“おいしい”を共有できた夏まつりになりました。きっと、今年の夏の楽しい思い出になったことと思います。また、集うことで子どもたちは様々なことを感じ刺激をもらったのではないのでしょうか。

夏もあっという間に終わろうとしています。今年はお天気に恵まれ、夏ならではの“水あそび”を、たっぴりと大胆に経験し楽しんだ子どもたち。水は様々なものとコラボすることでその姿を変えていき、子どもたちはその変化にワクワクしながら次はこうやってみようかな、こうしたらどうなるのかな、不思議を感じ、思考力を駆使し、試すことで繰り返す遊ぶ姿を見ることができました。

子どもたちが主体的にあそびを広げ、そのあそびが、より深まるようにと大人が

必要な道具を準備し環境を整えることは、子どものあそびを支えるために大切なことです。しかし、すべてを豊富に準備することが必ずしも最善のことではなく子どもたちが自ら選んだり「先生、〇〇が使いたい」と伝えることも子どもたちの気づく力や思考する力、表現する力を育むことにつながります。このバランスが大切です。

年長組と夏野菜の浮き沈みクイズをした時のことです。水の入った水槽の中にいろいろな野菜を入れると、水に浮かぶ野菜と沈む野菜があることを目の前で子どもたちは発見しました。「大きい野菜は沈むと思ったけどカボチャは浮かんだね。プチトマトは沈んだけど大きいトマトは浮かんだし…」、「なぜ?」「どうして?」が子どもの中にうまれてきました。自分が考えたことを担任に伝えたり、自分の考えと違う友だちの考えを知ることでもできました。「先生はプールに浮かぶかな?沈むかな?」と問いかけた後で、プールあそびの時に実際にプールに浮かぶ先生の姿を見て、「浮かぶ」ことにチャレンジする子どもたち。「浮かんだよ、みてみて。」と満足そうな子どもたちでした。「今日はプールに浮かんでみましょう。」ではなく、夏野菜の浮き沈みの不思議を感じ先生が実際に浮かぶ姿を見て、「すごい」「やってみよう」と子どもたちの心が動いたから、「やってみよう」の意欲が生まれ、やってみたら「できた!」の達成感を味わえたのだと思います。

心を動かす実体験の大切さを感じ、子どもの心を動かす環境づくり、環境は物的なものだけではなく“人”もであること、私たち大人が子どもたちにとって、大事な環境であることを意識しながら寄り添っていきたいと思ったところです。

子育て応援メッセージ

ママさんへ  
子どもの喜びに  
敏感です



子どもがうれしいとお母さんもうれしい、そしてお母さんがうれしいと子どももうれしいのです。

頭のとっぺんからつま先まで、子どもは全身で表現していますから、お母さんにはわかります。

子どもが何か話しかけてきたら、ちゃんと受け止めてください。子どもに負けないくらい、どんなに愛しているかを態度で示してほしいのです。

新潮社 「子どもはみんな問題児」より  
著者 中川李枝子  
主な著作 「ぐりとぐら」「いやいやえん」など



秋分の日

今月の23日は秋分の日です。この日は昼と夜の長さが同じになり、この日を境に昼間がだんだん短くなります。仏教では、この日をはさんで一週間を“彼岸”といい、お墓参りなどをして先祖を偲ぶ習慣があります。毎日無事に過ごせたことに感謝をし、謙虚な心でありたいものです。